

工学部

カリキュラム・ポリシー (工学部の統一的教育方針)

工学部では、工学の幅広い専門知識と基礎力を身に付ける実学教育を基盤としています。そのために、以下のカリキュラムを用意しています。

- (1) 初年次教育：キャリア入門、〇〇（学科名）入門を1年次に配しています。大学教育を受ける体制を整え、学生同士のつながりも深まります。
- (2) 基礎専門科目：数学関係科目においては理工系学部・学科に共通な基礎数学の習得を目指して統一的な科目配置を行い、物理関係科目においては専門学科とのつながりを考慮した物理・力学の習得を目指して学部・学科の特色に応じた科目配置をしています。
物理関係では、力学と振動・波動の科目に数学のプレイスメントテストと高校「物理」の履修状況を考慮した習熟度クラスを設けて、無理なく学びながら習熟度アップを目指します。必要に応じて再履修クラスを設けるなど、繰り返し学習する環境を提供し、基礎力の確実な習熟を目指します。
- (3) 総合科目・語学：人間形成に必要な総合科目と国際化に必須の英語は、1, 2, 3年次いずれでも履修できるようにしてあり、学生の成長に応じてステップアップできます。
- (4) 専門科目：各学科の基幹の専門科目とadvanced な科目を明確にし、学生の到達目標に応じて選択できます。
- (5) キャリア科目：キャリア支援講座を各学年に配し、インターンシップにも取り組んでいます。
- (6) プレゼミ：3年次後期でプレゼミを行い、4年次の卒業研究にスムーズにつなげています。

(7) 卒業研究：卒業研究はそれまでの学習の集大成ととらえ、問題解決能力やコミュニケーション能力が最大限発揮できるように、研究室に配属して個別指導を行っています。

そのほか、e-learning、TA (Teaching Assistant) 制度の活用や、実験・実習科目での企業退職熟練技術者による細やかで実践的な指導を行っています。また、各学科で部分的にクォーター制を導入して、集中学習による学修効果の向上を図っています。

工学部

ディプロマ・ポリシー

(工学部の統一的学位授与方針)

工学部では、産業社会の基盤である総合的な工学技術を支え発展させ、広く社会及び産業界で活躍できる専門的人材の育成を目指しています。そのために、以下の科目群をバランス良く取得して所定の単位を修め、それぞれの学修課題に相応しい、以下の能力を培っている者に対して「学士（工学）」の学位を授与します。

- (1) 総合科目：豊かな人格形成の基盤となり、社会との関わりを考える力。
- (2) 基礎専門科目、学科専門科目：工学の基礎知識をしっかりと学び、最先端の技術革新にも対応できる応用力。
- (3) 実験・演習等の実践科目：実際に「手」を動かして与えられた課題に取り組める能力。
- (4) プレゼミ、卒業研究：自ら目標を定め、それを達成する能力やコミュニケーションができる能力。